

読
本

山都町
やまとちょう
熊本県

暮
ら
し

や
ま
と

「山の都」にある暮らしって？

【発 行】山都町役場 〒861-3592 熊本県上益城郡山都町浜町6番地
TEL 0967-72-1111 FAX 0967-72-1080
【発行日】2014年3月

山	やま	暮	自
都	と	ら	然
町	ちやう	す	体
		ま	で
		ち	
		、	

自分らしい生き方、暮らし方を求めて
ここ山都町に移り住んだ方々がいらつしやいます。
今回は、そんなご家族と、町で受入れ窓口となる
役場若手スタッフさんにインタビュー。
様々なご縁から、夢を抱いて移住されたみなさん。
ただし、気負い過ぎずに、あくまでも自然体で
というのがポイントのようです。
さあ、山の都の暮らしの旅へどうぞ。

やまと暮らし読本

Part 1 山都町民インタビュー

page 3~4

移住して、4年



「山の中のカフェを、作るのが夢でした。」

小坂さんご家族

page 5~6

移住して、15年



「自然の成り行きにゆだねて、辿り着いた暮らしです。」

大隈さんご家族

page 7~8

地元生まれ育ち！町の案内人



「山の都は、何ととっても住めば都です！」

立田さん・山崎さん

Part 2 「山の都」って、こんなところ

page 9 山都町はどんな町？

page 10 山都町はどこにある？

page 11 山都町の子育て環境

page 12 山都町ので育環境

page 13 山都町の医療環境

page 14 山都町をもっと知るには？

【発行】山都町役場 〒861-3592 熊本県上益城郡山都町浜町6番地
TEL 0967-72-1111 FAX 0967-72-1080
E-mail yamatokurashi@town.kumamoto-yamato.lg.jp

【発行日】2014年3月

※本誌掲載の写真・文章等の無断転載を禁じます。

移住して、
4年

小坂さんご家族

【家族構成】ご夫妻・お子様2人 【移住日】2010年2月 【移住前のご住所】東京都板橋区 【現在のお仕事】カフェ経営



店内に設置された薪ストーブ。
寒い冬でも身も心もあたたまると、
必需品です。

関東出身の寛さんと、熊本県内出身の和子さん。現在もフリーランスの広告デザイナーとして活動を続けている和子さんのお母様のお気に入りの場所として「一家が訪れたのが、現在の自宅近くにある『ロンド美術館』。そこから眺められる雄大な景色に魅了され、建築家としても活躍される館長さんからの「二人でも建てられるよう設計してあげるよ」との声に背中を押され、丸2

自家製の家を建てる

分の家も手作りしていたのを見て驚いて(笑)。それが頭の隅に残っていたんですね。」



町内産の野菜をふんだんに使ったピザ。
世代を問わず人気です。

年かけての家造りが始まりました。

「その頃息子は3歳、娘はまだお腹の中にいました。子育てについては、東京でちょっとお散歩に行こうと思っても、アスファルトばかりで土がない。もつと伸び伸びと自然の中で遊ばせてあげたいと思っていました。こっちに移って来てからは、近所の人々に声をかけてもらったり、抱っこしてもらったり。二人とも思いきり遊べて嬉しそうです」と、和子さん。地域の行事などを通して、次第に地元の方々とも知り合う機会が増えていきました。

道路の草刈りなど、地区の作業に参



みずたまカフェ www.mizutama-cafe.com

熊本県上益城郡山都町尾野原 819-2 ☎ 0967-82-2685

【営業時間】正午～日没 【定休日】火・水曜日

山の中のカフェを、
作るのが夢でした。



「空間を作りたくって。人が集まってくる空間を。元々、休日に都市から離れて山奥にあるようなカフェを訪ねるのが好きだったんです。自然豊かな田舎町に行くとか何かほっとして。だから、いつか自分たちで育てた野菜を使ったカフェを開きたいねと、主人と話していました。」

4年ほど前に、縁あって家族で山都町に移り住んだ小坂寛さん、和子さんご夫妻。自宅と、隣接するオープン1年日のカフェは、なんとセルフビルド。暖かな日差しが注ぐ店内からは、遠く阿蘇五岳が眺められます。

東京でシステムエンジニアとして働き、遅く帰宅するとわが子の寝顔しか見られないという生活に疑問を抱き始めた、寛さん。川舎暮らしを視野に入れ、仕事帰りに就農準備校に通い始めます。

「週末になると、埼玉の農園で実地研修があるんです。その時に、農家さんが自家製の味噌や醤油を作るように、自

加する寛さんは、「自宅以外の地域そのものを、自分たちできれいにしようという感覚を味わったのは、区役が初めてでした。それがとても新鮮で。作業のコツを教えてもらえたり、交流も深まっていますね。」

景色は最高のごちそう、と声をそろえる夫妻。お子さんたちの成長と共に、さらなる夢が膨らんでいきそうです。



自然の成り行きに
ゆだねて、辿り着
いた暮らしです。

移住して、
15年

大隈さんご家族

【家族構成】ご夫妻・お子様4人【移住日】1999年5月
【移住前のご住所】愛知県春日井市【現在のお仕事】有機農家

大隈徹さん、美佐子さんご夫妻の自宅から細い林道を抜けると、段々に連なるいくつもの棚田が見えてきます。ここは、水路橋「通潤橋」から用水路を通じて水が引かれている白糸台地のすそ野。真下の緑川渓谷を挟んだ向こう側には、九州山地の高い山々の景色が広がっています。

「最初から計画してその通りになったという訳ではなく、色んなタイミングで必要なご縁を得てやってきたという気がします。山都町に移り住む前は、愛知で二人とも会社員をしていました。以前から自然環境になるべく負荷をかけない暮らしに興味があったこともあり、都市ではなく田舎暮らしへの関心が次第に強くなって。調べていたら、偶然山都町の有機農家さんの紹介記事を見てネットで見つけて、早速手紙を書いてみることにしたんです」と、ご主人の徹

さん。その後連絡がとれた町内でも先駆的な有機農業を手がける農家さんから、土地や住宅を紹介してもらい、家族で移住したのが15年前。現在はご夫妻と、小学生から高校生までの4人の息子さんたちの、あわせて6人家族。家のまわりには犬2匹と猫1匹、その他に鶏小屋もあり、生き物たちがのんびりと暮らしている様子がうかがえます。

子どもたちが生んだつながり

「保育園に子どもたちが通うようになって。そうしたら、子育てしている自分たちと同じような世代の人たちと出会いました。みんなフレンドリーに付き合ってくれて。集落内でも、子どもを可愛がってくださる方が多くて。人のつながりは、子どもが最初につけてくれたのかもしれない」



そう隣で話す、美佐子さん。保育園や学校での保護者同士の交流は、様々な情報交換の場にもなっているそうです。

また以前、田んぼで作業をしている傍らで幼い息子さんが遊んでいた時、「勝手に井手用水路」に行つて水に濡れてびしょびしょになって遊んでいた、カエルを追いかけ、苗踏んでお父さんに怒られたりしているのを見たりす

るとね、とてもいい風景だなあと想着、子どもたちが居て良かったと思います。つらい仕事も、見ていると何だか楽しくなってくるんですね。保育園でも、わりと外で土に触れたりさせてくれたので、良かったなと思っています。」

米作りで1年がまわる

田んぼでのお米作りや、ミョウガ、人参、里芋など、色々な種類の野菜作りに取り組まれるお二人。徹さんは、「やっぱり春に田植えが近づいてくると、わくわくするような気持ちというか、今年もよく出来るといいなと思いますね。秋に稲刈りする時も、出来がどうだったかなとか。一つのサイクルになっているんだと思いますね。」

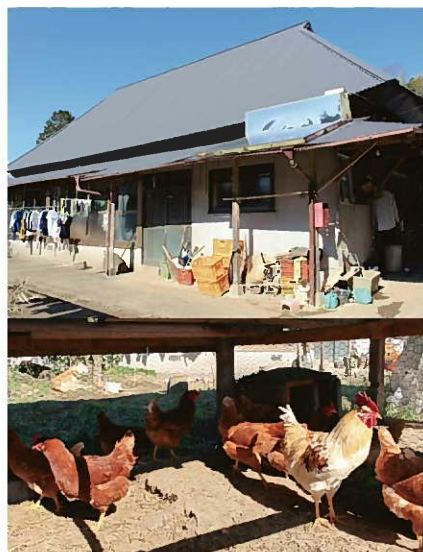
肩の力を入れ過ぎることもなく、「成り行きにまかせてやってただけ」と微笑む夫妻。その柔軟性ゆえの、地域の変化に富んだ自然と協奏する音が、あたかも聴こえてくるようです。



寒さきびしい冬を越え、さらに旨みがぎゅっと詰まった元氣な野菜たちです。

(写真・上) 自宅は移住4年目に出会った古民家。茅葺き屋根の趣が残っています。

(写真・下) 毎朝新鮮な卵を産む鶏たち。卵を使った料理が日々の食卓に並びます。



山の都は、何といても住めば都です！

「初め18、19歳ぐらいで役場に入った頃は全く知り合いもない状態だったのに、今は地域の方も含めて色んな方に覚えていただいで、町で会おうと声をかけてもらったとか、人のつながりが出来たことが一番嬉しいですね」と語るのは、山崎さん。役場に勤めて13年目の山崎さんと、15年目の立田さん。実は地元の中学校で同じソフトボール部の先輩後輩でもあったというお二人は、今では町の若手職員として力強い存在になっています。

山都町の、ここがおススメ！

2005年の町村合併で誕生した、町としては県下で最も広い面積を有す

山崎咲さん(写真・左)

山都町目丸地区出身。2001年、町村合併前の旧矢部町(現在の山都町)役場入庁。教育委員会等を経て、現在は税務課に勤務。その明るい笑顔はいつも周囲の人の心を和ませています。

立田さとみさん(写真・右)

山都町下名連石地区出身。5人兄弟の次女として育つ。1999年、旧矢部町役場入庁。経済課や熊本県福岡事務所への出向等を経て、現在は企画振興課に勤務。地域への熱い想いはピカイチです。

地元生まれ育ち！ 町の案内人



2012年に発足した「山都のやままめの会」。小一嶺神社参道で主催するマルシェは毎年大好評です。



る山都町。お二人が感じる地域の魅力を、あらためてお聞きしてみました。「この町の、空が好きですね。山から昇る朝日、真っ青な空の色や、夕焼けもきれいです。それから、実は夜の星空もイチオシなんです。清和高原天文台からはもちろん、町内の色んな場所から空を見上げると、すごく細かい星まで見えて感動しますね。あと、個人的には長崎地区にある舟の口水源もお気に入りです。幼い頃に家族に連れて行ってもらって、その時の大パノラマで湧水が流れ落ちる光景と楽しい思い出が忘れられなくて」と、立田さん。山崎さんは「地元の目丸地区と隣の津留

地区へもぜひ足を運んでいただきたいですね。すぐ隣り合わせの場所なのに、標高差があるので山からの眺めも川のある風景も両方楽しめます。小学生の頃は、家の前を流れる川でよく友だちと泳いで遊んでいました。元氣いっぱい、野性児だったんですよ」と、笑って返してくれ

ました。

自慢の町民気質

「ほっとかないという町民気質のようなものがあると思うんで

す。近所の人が野菜や漬物をくれたりとか、自分の見返りを考えるというよりも人に与えたり、困った時は助け合ったり」と立田さんが話すと、山崎さんも頷きながら、「町内の浜町商店街で、昔から『損をして得をする』という言葉が使われているということをお聞きしたことがあります。自分がちょっと損をしてでも、後々には自分の得になって返ってくるという。そういう気質も、大切にしていきたいですね。それから、文化的な活動に精通する方々や、ビーチバレーやサッカーなど、スポーツに熱く取り組む方々など、幅広い分野でそれぞれに活躍されていて、みなさん素敵なんですよ。」



山都町

山都町役場 <http://www.town.kumamoto-yamato.lg.jp/>

熊本県上益城郡山都町浜町6番地 ☎ 0967-72-1111 (代表)



浜町商店街で200年以上続くといわれる「八朔祭」の大造り物。街のあちこちで見ることができます。

山都町はどこのにある？



最寄りの 空港

熊本空港
(阿蘇くまもと空港)
◎ 約 35 km

自家用車で約 50 分
バスで約 1 時間 30 分
◎ 産交バス「特急たちかは号」

最寄りの 駅

熊本駅
◎ 約 42 km

自家用車で約 1 時間
バスは熊本交通センター
から乗り換え

最寄りの バスセンター

熊本交通センター
◎ 約 41 km

自家用車で約 1 時間
バスで約 1 時間 30 分
◎ 熊本バス

最寄りの インターチェンジ

① 御船 IC / 約 30 km 自家用車で約 45 分
② 松橋 IC / 約 36 km 自家用車で約 50 分

※鉄道は運行していません。

九州の ほぼ中央！

山都町

山都町は、熊本県の東部、九州のほぼ中央、九州のへそに位置しています。町の北部は阿蘇山、南部は九州脊梁の山々が連なり、これらを水源とする二つの主要河川が東西に流れ、起伏に富んだ独特の渓谷美を形成しています。滝や深谷などの景勝地が多いことに加え、山や川などの自然を活かした名所やレクリエーション施設が数多く点在しており、ありのままの自然に触れ合える拠点として親しまれています。

山都町の気候(気象試験地調べ)

● 平均日照 132 時間 / 月
● 平均降水量 228 mm / 月
● 平均気温 年間 13.2℃ / 月
1月 1.8℃ / 月
8月 24.8℃ / 月

居住地域は標高 300 m ~ 900 m に位置しているため、夏は涼しい反面、冬は降雪もあり寒さが厳しい準高冷地です。平均気温も熊本市内の観測地と比較すると、各月において 3 ~ 4℃ 程度低くなっています。



水路橋「通潤橋」によって潤いをもらされている棚田。「通潤用水と白米台地の棚田景観」は国の重要文化的景観に選定されています。

地形的な変化に富み、狭い耕作地など厳しい地理的条件ながら、先人の知恵と努力によって巧みに水を導き、農業を中心とした生活を営んでいます。特に有機栽培生産者が多く、有機農業発祥の地とも言われています。

気象

産業

自然に感謝し、お互いが支え合い、一人ひとりを大切に作る心豊かな地域社会を築いている町です。

山都町はどんな町？

山都町の教育環境

小・中学校では、家庭や地域社会とともに子どもを育てていくという視点にたって、開かれた学校づくりを推進しています。特に、家庭や地域の人びとの協力をともに、地域の歴史・文化、自然環境など身の周りの地域資源を活用した取り組みを推進し、学校の休みの日に学校体育施設を開放するなど、家庭や地域社会との連携を深めています。更に、子どもの健康を守る観点から、学校給食における地元農産物を活用した地産地消の推進を図り、農林業の果たす役割を理解する学習にも取り組んでいます。



小学校・中学校

教育委員会 ☎0967-72-0443

《通学支援》山都町は面積が広大なため、学校までの通学が遠距離となる地域もあります。遠距離通学となる児童生徒には、スクールバスの利用、または通学に要する費用(自転車購入等)の助成も行っています。(通学支援の対象になるかどうかは事前の確認が必要です。)

小学校 7校

- 中島小学校 山都町北中島2333-1
- 矢部小学校 山都町下馬尾17
- 御岳小学校 山都町川野1543
- 潤徳小学校 山都町入佐264
- 清和小学校 山都町飯屋384
- 蘇陽小学校 山都町柏981-3
- 蘇陽南小学校 山都町馬見原165

中学校 3校

- 矢部中学校 山都町城平527
- 清和中学校 山都町大平410
- 蘇陽中学校 山都町今450-1



高等学校

「熊本県立矢部高等学校」は町内唯一の県立高等学校です。食農科学科、緑科学科、普通科の3つの学科があります。

《矢部高校進学者への支援》町では、矢部高校への進学奨励として、入学支度金及び教科書購入等について保護者への助成を行っています。

- 矢部高等学校 熊本県上益城郡山都町城平954
http://sh.higo.ed.jp/yabesh



全学年1年生による田植え学習

山都町では、少子化・核家族化に対応し、安心して子どもを産み、育て、子どもが健やかに成長する地域社会を形成していくための環境の確保を進めています。また、子育て支援センターやつどの広場により、子育てを社会全体で総合的に支援する体制の充実を図るとともに、子育ての不安や悩みに対する相談体制の充実を図っています。



保育園

役場健康福祉課 ☎0967-72-1229

公立保育園 9園

【受入年齢】 0歳～就学前
【開所時間】 7:30から18:30
又は19:00まで

- 延長保育可能 ● 給食あり
- うち5園で一時保育あり

私立保育園 4園

【受入年齢】 0歳～就学前
【※乳児園は0歳～3歳未満】
【開所時間】 7:00から19:00
【※乳児園は7:00から18:30】

- バス送迎あり(※乳児園はなし)
- 延長保育可能
- 給食あり ● 一時保育あり

へき地保育園 2園

【受入年齢】 2歳半～就学前
【開所時間】 8:30から17:00

- × 延長保育不可 × 給食なし
- 保育料 1人 月額4,000円
2人目以降3,500円

※詳細は、役場健康福祉課へお問合せいただくか、ホームページ(P14参照)をご覧ください。

子育て支援

役場健康福祉課 ☎0967-72-1229

山都町地域子育て支援センター ☎0967-72-1928

育児の不安・悩みなどの相談を受けつけたり、子育てサロンや子育て教室などを開催し、楽しい子育ての応援を行っています。

つどの広場 シャベル ☎0967-72-4118

子育て親子の交流の場を提供しています。おもちゃや絵本がいっぱいのスペースでは、子どもは自由に遊び、お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃんは、おしゃべりなど自由に過ごすことができます。

山都町ファミリーサポートセンター ☎0967-72-1928

仕事と育児の両立など、安心して子どもを生み育てることができる環境づくりを推進しています。

子ども医療費助成

新生児から15歳の年度末までの医療費助成を行っています。

出産祝い金

出生児の父または母に対し、出産祝い金を給付します。

山都町の子育て環境

山都町をもっと知るには？

山都町の情報通信環境、生活交通環境、買い物環境、住まい、就業の情報や、移住者支援（移住相談、空き家情報の提供、短期滞在施設の貸し出し）、結婚対策など、山都町の暮らしに関するさまざまな情報は、「山都暮らし交流サイト」でお知らせしています。サイトでは、行政からの情報だけでなく、実際に暮らしている住民や団体など、それぞれのオリジナルのページから地域の情報を発信していますので、山都町の生情報、リアルタイムの状況を見ることができます。山都の暮らしが気になる方、ぜひサイトをチェックしてみましょう！

「山都暮らし交流サイト」

<http://www.town.kumamoto-yamato.lg.jp/ijyuu/>


身近なところで安心して医療を受けられるように、「かかりつけ医」の推進や医療体制の充実を進め、地域の実情に応じた適切な医療環境の確保を図っています。

医療機関

※診療時間など詳しくは、ホームページ(P14参照)をご覧ください。

**山都町包括医療センター
そよう病院
(救急告示病院)** 内科、外科、小児科、消化器外科、循環器内科、整形外科
眼科、リハビリテーション科、呼吸器内科、小児外科
精神科、心療内科、歯科、歯科口腔外科

矢部広域病院 内科、消化器内科、消化器外科、循環器内科、外科、
肛門外科、整形外科、麻酔科

瀬戸病院 泌尿器科、眼科、消化器科、内科、外科、
リハビリテーション科

伴病院 内科、外科、婦人科、リハビリテーション科

山口医院 婦人科、内科、皮膚科、小児科

野田医院 内科、小児科、消化器科

**高田整形外科
クリニック** 整形外科、リハビリテーション科、リウマチ科

坂本クリニック 内科、小児科

**せいむ歯科
クリニック**

歯科
小児歯科

豊田歯科医院

歯科

野田歯科医院

一般歯科
小児歯科
口腔外科

浜町歯科医院

歯科
小児歯科
矯正歯科

**どうのうえ歯科
クリニック**

一般歯科

**小児救急
電話相談**
(全国同一事業)

相談方法

相談時間

小さなお子さんをお持ちの保護者の方が、休日・夜間の急な子どもの病気にどう対処したらよいのか迷った時に、小児科医師・看護師へ電話による相談ができます。

電話で【8000】をプッシュすると熊本県の相談窓口へ転送されます。

毎日夜間 午後7時～午前0時

注)町内に「産科」はありません。近隣市町の最寄りの産科医については、役場健康福祉課健康づくり係(☎0967-73-1600)へお問い合わせください。

山都町の医療環境